

活動中間ビジュアル報告

団体名

七条アトラボ

活動のテーマ

芸術大学の学生と周辺住人をつなぐ京町家田中家の活用

●助成対象活動に至った理由や背景

【助成対象活動内容と目的】

この活動は、京町家田中家(京都府京都市下京区 高倉材木町 485)のオーナー田中暁さんと、京都市立芸術大学学生(学部、修士、博士)の多様な有志メンバーが 2023 年 10 月京都市立芸術大学キャンパス完全移転を見据え、京町家田中家を周辺地域と京芸生がつながるハブとしながら、長く親しまれていく場所となることを目的に保存活用プロジェクトを展開しています。また、学生は、京都市立大学美術学部のテーマ演習(学生と教員でテーマや課題を見つけ各専攻を横断したメンバーで行う授業)を通して、さらなる広い活動へと展開していきます。活動を主な活動内容は、下記になります。

1. 建物調査・作品調査・歴史調査・・・田中家、東本願寺等の建築調査、コレクション調査、地域の歴史調査、類似物件調査を行います。
2. 田中家を中心としたイベントの開催・・・年に 2 回のイベント企画のもと、建物公開を行います。
3. ガイドブックや活動報告冊子の編纂・・・イベント企画のフライヤーはもとより、調度品修理やコレクション・アーカイブ、「くらしのいはれ」などの記録的資料を作成します。

【助成対象活動に至る経緯・背景】

かねて、田中家オーナーの田中堯さんは、京都市立大学が京町家田中家を使用・活用することを望んでおられましたが、古材文化の会と七条アトラボ代表の信藤勇一の関係でご縁が出来て、京都市立芸術大学のテーマ演習授業の場所としてスタートさせていただききました。今期で 7 期 4 年目に入っています。

【活動の今後について】

2023 年度 10 月の大学キャンパス移転後の活動は、有志メンバーや参加意思のある周辺店舗・施設による協働イベントの開催の規模を拡張させ、芸大生と地域住人がこれから作る芸術と文化が育まれる街の在り方を提示していきたいと考えます。

更には、田中家の今後の保存・活用の方向性についても検討のうえ、長く京町家田中家とその活動に貢献できるように努力していきます。

●別紙: 1. スケジュール結果(ビジュアル別紙1)

2. イベント企画フライヤー(ビジュアル別紙2)

3. 写真(ビジュアル別紙3)

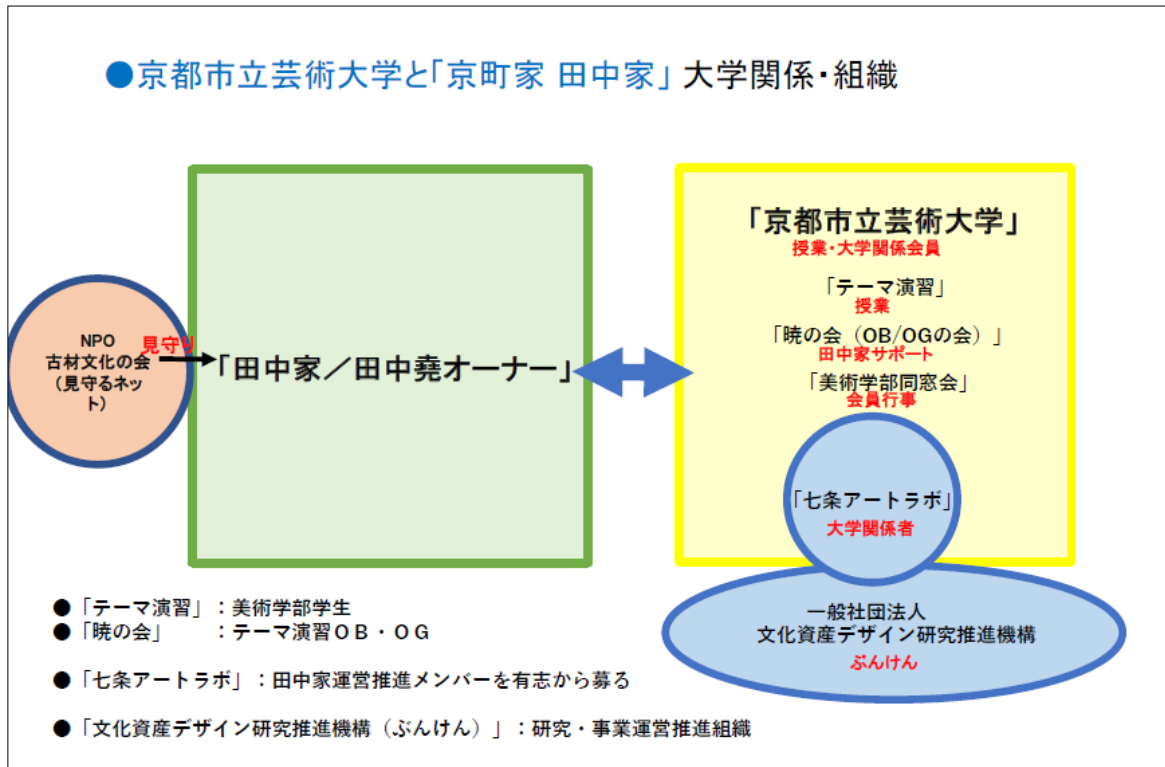
●七条アートラボ(解説資料)

●京町家田中家と活動地域



※京都市立芸術大学移転整備事業では、この地域が「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンとなることを目指しています。

●京都市立芸術大学と「京町家 田中家」の連携概念図



●田中家の歴史、概要

- ・かつては「七条仏所跡」とよばれた、名だたる仏師（運慶・快慶）が集う場所だった。
- ・明治28年、東本願寺御影堂の再建時に資材等の提供をうけた。
- ・田中家は、下京区七条通りに面し位置する明治期の京町家で景観重要建造物指定、京都を彩る建物や庭園認定、令和元年度には、京都景観賞（京町屋部門）優良賞を受賞。
- ・主屋は120年以上、借家（aotake）も100年以上の歴史ある京町家。



田中家正面（北側）



七条仏所の説明板

●田中家の間取り

